

## 文化庁（市原富士夫文化財調査官）との打合せについて（報告）

日 時 令和3年4月22日（木）午前10時30分から正午

視察場所 諏訪原城ビジターセンター及び諏訪原城跡内

出席者 県文化財課・・・武田主査  
市博物館課・・・又平課長、和田課長補佐、萩原主任学芸員

### 概 要

市原調査官には、諏訪原城跡の整備状況の現地確認及び今後の整備計画年次スケジュール等について下記のとおり指導をいただいた。

#### 1. 諏訪原城大手曲輪周辺農業基盤整備事業について

→遺構の保護が大前提である。静岡県にとって、茶園を保護しその景観を維持していくことが大切であるということは承知している。まずは、遺構の有無の調査をおこない、遺構の保護ができる内容の基盤整備事業であるならば、現状変更申請の書類を提出してほしい。

#### 2. 諏訪原城跡の全体スケジュールの確認と現在整備中の土塁上の立体工作物について

→全体のスケジュールは特に問題ないと思う。島田市として、すぐに塀をつけたいのであれば、復元検討委員会の報告事項にあげることは可能である。

（島田市）

今までの復元検討委員会の経緯からすると、報告事項にあげても、すぐにはOKが出ないと考えられるのでスケジュールどおり、園路整備をおこないながら、復元検討委員会に提出する資料を作成していきたい。

→今年度の工事が終了したら、二の曲輪北馬出の整備状況を各角度から撮影して文化庁に送ってほしい。工事終了後の雰囲気を確認させてほしい。その後に復元検討委員会に提出する書類について相談したい。

#### 3. 諏訪原城の今後の整備について

→整備に関しては、大手外堀のあとはメインの本曲輪などに移っていくことになると思うが、どの場所を整備して、どの場所を環境整備していくのか？場所の選定を整備委員会で決めてほしい。ゾーン全体の史跡整備は今後の管理が大変になる。また、整備基本計画の中で眺望確保の場所を選定しているが、遺構を保護するための支障木などの伐採なども洗い出しをして伐採計画を考えてほしい。

### 島田市として進める作業について

史跡整備工事終了後の写真撮影及び市原調査官との協議  
伐採計画（環境整備）の作成